

令和7年度 シラバス

教 科	芸術	科 目	音楽Ⅱ	学 年	第2学年	学 科 類 型	普通科文系
単位数	1 単位	教科書	MOUSA2（教育芸術社）				
副教材							

学習目標	音楽Ⅰの学習内容から発展させ、音楽史を中心に学習します。西洋音楽史の変遷を和音の進化を通して学び、創作へつなげていきます。器楽では、ギターやキーボードを使っでの活動を予定しています。
------	---

キャリア教育の視点	様々な音楽が生活の一部となっている現在、音楽の楽しみ方は様々だと思います。基礎となる知識や技術があれば、今までより更に音楽を身近に感じ、自分に合った音楽の楽しみ方を発見することもできると思います。卒業してからも音楽に親しむために、知識を付け、感性を磨きましょう。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4 月	1 年時の復習・校歌・教科書の歌唱	歌唱は、教科書を中心に幅広いジャンルから選曲します。	ワークシート 発表
	5 月	西洋音楽史・器楽 キーボード	西洋音楽史は一年次の学習をさらに高めて、聴いた印象などを言語化していきます。	
	6 月	西洋音楽史・器楽 キーボード	作曲家や作品の調べ学習も行います。	
	7 月	西洋音楽史（流れや音楽様式）		
2 学 期	8 月	音楽理論 コードについて	2 学期は創作活動を行います。簡単な旋律を作り、歌詞を入れて、コード伴奏ができることが目標です。キーボードを使って創作を進めていきます。経験がなくてもコードの仕組みを学習すれば弾けるようになります。ギターにも挑戦します。曲を歌うなど楽しみながら取り組みましょう。	実技テスト
	9 月	創作活動 キーボード		
	10 月	歌詞の創作 メロディー創作		
	11 月	器楽 ギター 音階		
	12 月	メロディー奏 弾き歌い コード学習		
3 学 期	1 月	日本の伝統音楽	日本の伝統音楽を学習します。身近にある伝統音楽を探したり、全国的に有名なものを研究したりして、音楽を通して日本文化に触れます。	ワークシート
	2 月	世界の音楽		
	3 月	音楽史のまとめ		

学習の方法	授業中の活動が中心となりますので、個人での活動もペアでの活動も、積極的に自主的に取り組んでください。音楽史や創作の知識については、授業で扱う内容が大切になります。また、創作活動や器楽演奏についても、授業の中でどれだけ積極的に活動できたかが大切になります。
-------	---

評価の仕方	定期考査は行いません。 知識・技能 A 表現(完成作品、創造的な技能) B 鑑賞(ワークシート、自己評価) 思考・判断・表現 A 表現(創意工夫) B 鑑賞(鑑賞活動、発表内容) 主体的に取り組む態度 A 表現(活動状況、提出物、発表、発表の工夫) B 鑑賞(鑑賞の発表、協働的な活動状況、感想)
-------	--

備考	
----	--